



新人看護職65名が入職しました。

看護部長 かんだ まりこ
神田 真理子

当院では、高度外傷センター及びGCUの運用を開始し、医療体制の拡充を図り新年度がスタートしました。新しく65名の看護職(看護師60名、助産師5名)が入職となり、希望と責任を胸に社会人、専門職業人としての新たな一歩を踏み出しました。

4月1日から5日間を通しての入職時集合研修は、病院概要の説明から始まり、社会人としてのマナーを実践するための元キャビンアテンダントによるビジネスマナー研修やチーム医療に向け他職種合同でのBLS、点滴管理等の技術演習、防災訓練、医療安全、感染管理等を行いました。集合研修最終日には、今年度から健康管理について産業医による講義があり、働きやすい職場づくりには、職場における自助、共助、公助が重要であるといわれ、特に挨拶(オアシス)からはじまる、ワークライフバランス等のセルフコントロールに心がけていくことで締めくくりとなりました。現在、新人看護職は配属部署で患者さんへのケアを通して、先輩看護師の指導のもと、社会人としての職業人としての楽しさ厳しさを目の当たりにしているところです。

オはようございます。(朝の挨拶)
アりがとうございます。(感謝の挨拶)
シつれいします。(退勤の挨拶)
スみません。(素直に詫げる挨拶)



島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

5月15日～6月14日

対象者: **一般** 一般市民 **医療** 医療関係者 **本学** 本学教職員・学生

開催日	時間	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者
5/15(日)	9:30～11:30	平成28年度 島根県がんびアサポ-ター相談会	外来・中央診療棟3階 カフェインルーム だんだん	一般
5/22(日)	10:00～11:30	第9回患者さんと家族のための関節リウマチ勉強会	★パルメイト出雲4階 パルメイトホール	一般
5/22(日)	13:00～16:00	神在りの囀 がんメディカルカフェ	みらい棟4階 ギャラクシー	予約制
5/23(月)	15:00～16:00	誰でも参加できる糖尿病教室 「おしっこには情報がいっぱい!～尿検査について～」 「腎臓内科医による糖尿病腎症のおはなし」	外来・中央診療棟3階 カフェインルーム だんだん	一般

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



NEWS



CONTENTS

- ・入退院管理センター
センター長就任にあたって
- ・島根大学医学部附属病院
医師派遣検討委員会の設置について

- ・新人看護職65名が入職しました。
- ・島根大学医学部における
研修会・講演会・セミナー開催情報



島根大学医学部附属病院 医師派遣検討委員会の設置について

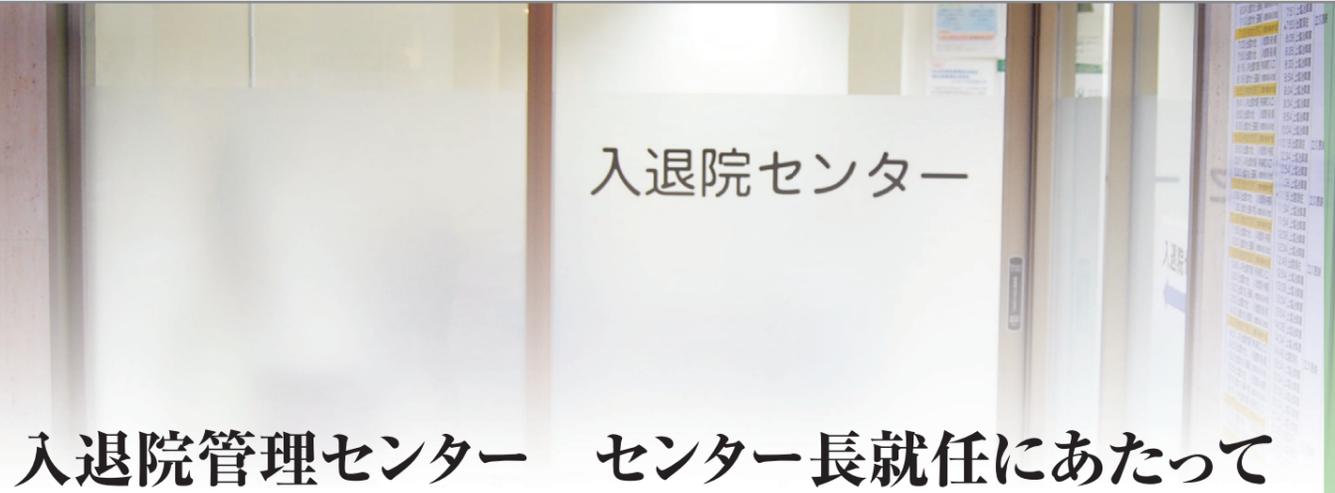
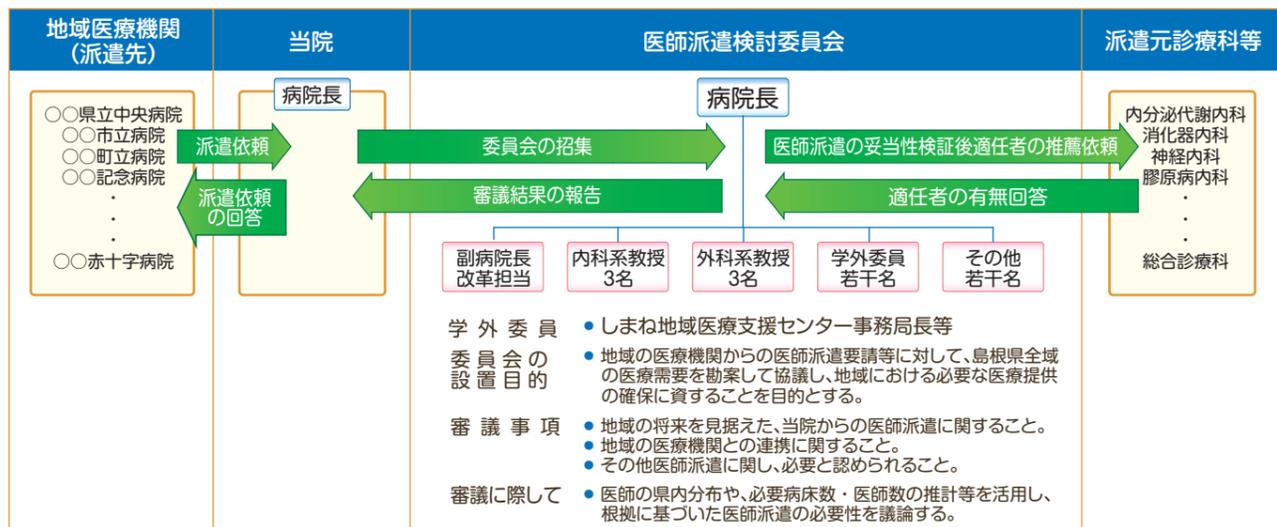
病院長 いがわ 井川 みきお 幹夫

本学は開学以来 3,353 人の医学科卒業生を輩出してきましたが、県内の医療機関の医師不足と偏在は解消できていません。県内の医療機関への医師派遣は、本学の重要な役割と認識していますが、これまでの医師派遣は地域の将来の医師需要を見据え、各診療科医師の適正配置に関するデータに基づいて実施されていなかった点等が大きな問題です。これを改善するため、当院に医師派遣検討委員会(以下、委員会)を設置いたしました。医療機関から医師派遣要請が委員会にあれば、当該診療科医師の県内、2次医療圏内の分布、派遣依頼医療機関の診療実績等により医師派遣の妥当性を検討します。この委員会の構成員は、病院長、臨床系と地域医療関連の教授、卒後臨床研修センター長、島根県健康福祉部次長、しまね地域医療支援センター事務局長です。

3月24日に第一回の委員会を開催し、2病院からの常勤医、非常勤医の新規派遣要請について検討しました。派遣要請のあった診療科の入院患者数、医療圏シェア、平均在院日数、患者構成指標、在院日数指標の5因子について主成分分析により算出した必要医師数に基づいて協議し、常勤医の派遣の必要性は乏しいと判断しましたが、非常勤医の派遣については6件承認しています。

この委員会は、2017年から開始予定の新専門医プログラムにおいて専攻医が基幹病院、連携病院をローテーションする際も、卒後臨床研修センター、しまね地域医療支援センターと連携し、地域の医療に配慮した研修となるよう調整するとともに、地域卒等出身医師の義務履行と専門医取得の両立にも役割を果たします。医療機関の皆様には、この委員会の取り組みにご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

医師派遣に関するフローチャート



入退院管理センター センター長就任にあたって

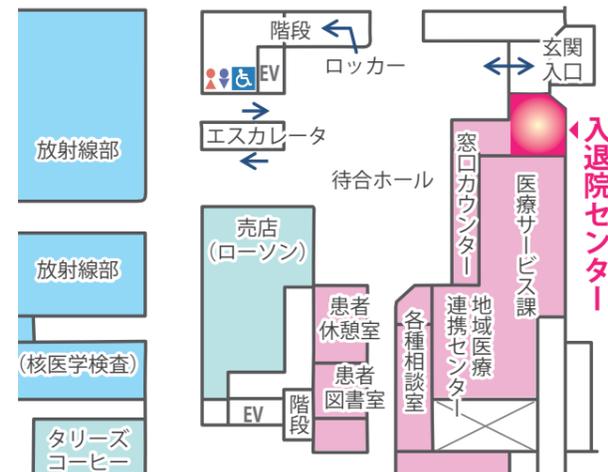
入退院管理センター センター長 やまもと 山本 まさひろ 昌弘
内分泌代謝内科 講師

初代入退院管理センター長 岩田春子看護師長の退任にともない、同センター長に就任しました内分泌代謝内科の山本昌弘です。当センターは、県内全域に対し先進医療や急性期医療を円滑に提供するために、入院、転棟、退院の一連の病床運用に関わる業務を、診療科の枠組みを超えて行う部署です。季節性変動のある疾患等の入院要請の変動にあわせて診療科の配分病床数の調整を行い、また、傷病回復程度に応じた病床での療養を行うために、副センター長として在任する岩田と病棟看護師長らで病床移動の調整を行い、早期の入院や在宅復帰の実現に努めています。



居住地の医療圏から離れて当院で治療を受ける方も多く、切れ目のない医療提供や、当院退院後も居住地で変わらぬ生活を維持するための環境整備が重要です。入院予約時に医療状況や日常生活動作、ご家族を含む生活環境を聴取し、地域医療連携センターのソーシャルワーカー・看護師と連携し、ご紹介時から早期介入を心がけています。

当院の理念である「地域医療と先進医療が調和する大学病院」の実現において、重要な部署と考えています。ご要望やお気づきのことがございましたら、遠慮なくお知らせください。



入退院センター窓口 TEL: 0853-20-2674 E-mail: nyutai@med.shimane-u.ac.jp



島大病院ニュース
2016年5月

お知らせ

文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業 「地方と都会の大学連携ライフィノベーション」 トゥワイライトセミナー について

地域医療政策学講座・教授 ひろせ まさひろ
プログラム・コーディネータ 廣瀬 昌博

「地方と都会の大学連携ライフィノベーション」の目的は、近未来の超高齢者社会において安全で質の高い医療やケアを提供できる、リサーチマインドをもった総合診療医や医療スタッフの養成です。

そこで、本プログラムでは、医療従事者の利便性を考慮し、地域の関連施設で、TV会議システムを通じて、定期的に講義、講演会を県下28施設に配信する「トゥワイライトセミナー」を開催しています。

本セミナーは、毎週火曜日18時から、みらい棟4階ギャラキシーで、学内外の大学教員、医師、行政職、弁護士、理学療法士、金融関係者など、あらゆる職種が講師となり、地域包括ケア、総合診療およびリサーチマインドに関するものをはじめ、27年度は医療管理学、医療経営学の講義が含まれ、好評を博しています。

受講料は必要ありませんが、受講には、本プログラムの地域包括ケア連携人材養成コース、または、総合診療医・内科総合医育成コースに登録していただくことが必要です。



京都大学医療統計学佐藤俊哉教授による医療統計学の講義

問合せ先 卒後臨床研修センター・コンソーシアムステーション
TEL : 0853-20-2006



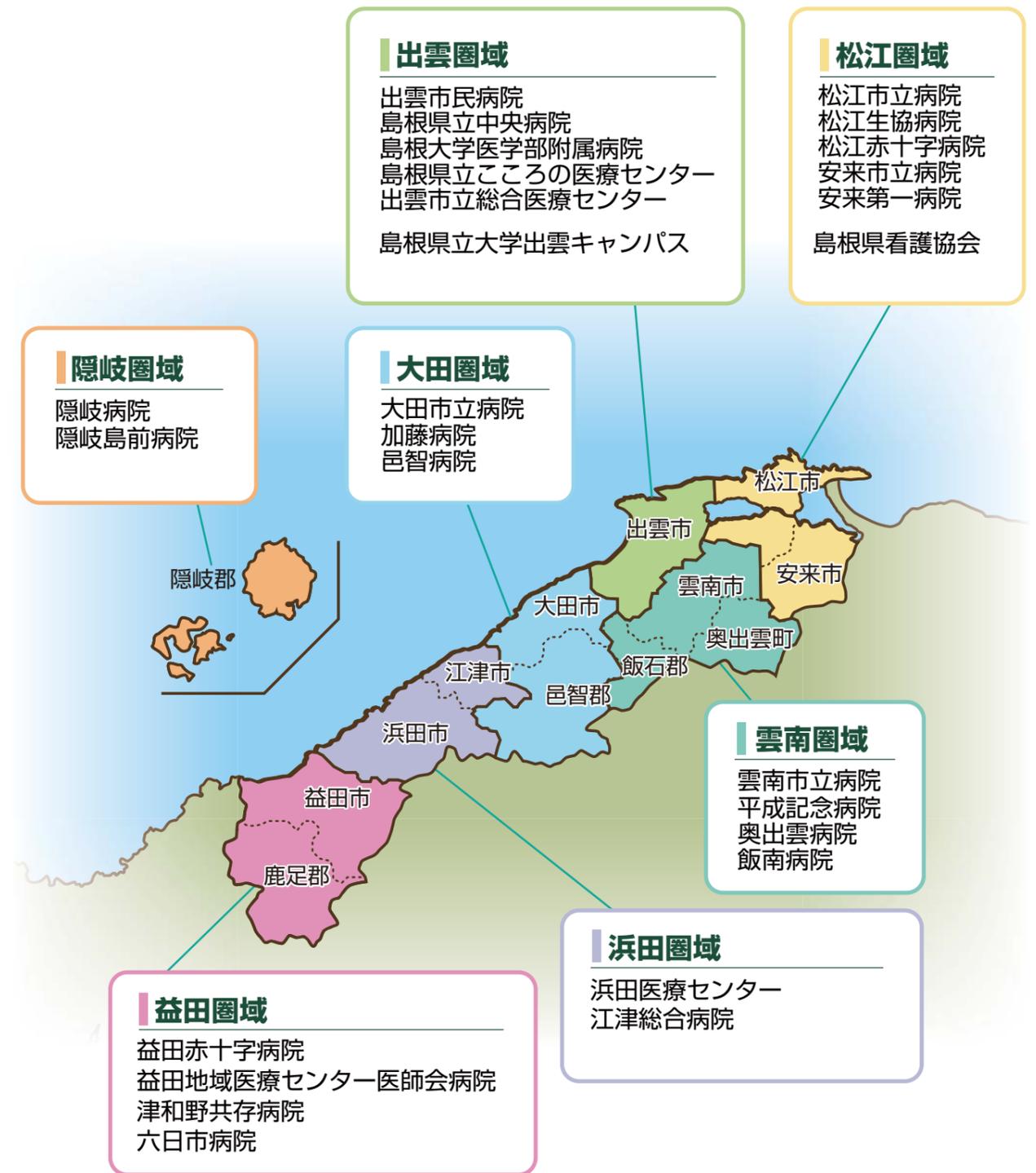
お知らせ
島大病院ニュース

平成28年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援（地域医療）担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



● 会場一覧【TV会議システム整備先】



問合せ先 卒後臨床研修センター・地域包括ケアステーション TEL:0853-20-2006
E-mail sotsugo@med.shimane-u.ac.jp (卒後臨床研修センター)



島大病院ニュース
2016年5月

お知らせ

新人研修医の紹介

おにがた かずみち
鬼形 和道
センター長
卒後臨床研修センター

平成28年度は、当院の研修プログラムで医科研修医20名と歯科研修医1名、計21名が初期研修をスタートしました。国家試験に合格したのち、医師法に定められた研修(医科 2年間、歯科 1年間)を修了して本当の医師として認められます。

初期臨床研修期間中、指導医養成講習を受けた指導医のもとで、必須研修と選択研修を行います。各科の研修は1～2か月と短い期間でローテーションすることが多く、心身ともにきつい時期でありメンタルヘルスケアも大切です。当院では、実際に研修指導を行う指導医に定期的集まっていただき、彼らの研修状況を細かく把握して支援しています。

新たな専門研修の導入が予定されており、専門研修を見据えた“初期臨床研修”を提供する所存です。地域研修等でご指導いただく機会もあると思います。どうか、皆様に若手医師の育成を後押しいただければ幸いです。



お知らせ
島大病院ニュース

平成28年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

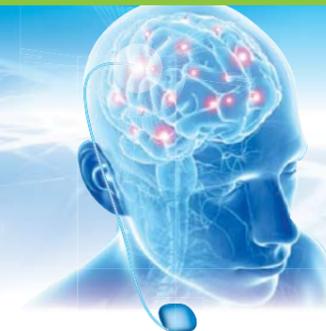


島大病院ニュース
2016年5月

お知らせ

Deep Brain Stimulation

DBSはじめます



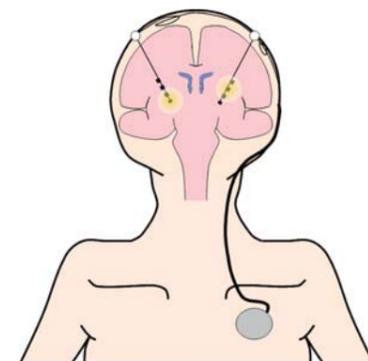
ながい ひでまさ
脳神経外科 准教授 永井 秀政

はじめに

- DBS (Deep Brain Stimulation) とは、脳深部刺激療法のことです。脳深部の大脳基底核という部分を電極で直接刺激することで、不随意運動などを治療するという機能神経外科手術です。
- 脳神経外科の中では手術侵襲が比較的少ない部類にはいますが、脳内の目標点に、ミリ単位で正確に電極を留置しなければならないので、繊細な技術を要します。ペースメーカーのような刺激発生装置を胸部に埋め込み、目標部位を刺激します。

対象となる病気

- パーキンソン病(中等度)、本態性振戦、ジストニアなどの不随意運動症が主な対象疾患です。
- 薬物治療が難しく、手術治療に耐える場合が適応となります。



手術の方法

- 大脳基底核の地図を、頭部MRIで作成します。
- 頭部にフレームを装着して、頭部CTを撮影します。
- 頭部CT、造影MRI、脳機能画像を融合します。
- 目標点を決めます(プランニング)。
- フレームを基準として手術を進めます。
- レントゲン撮影や透視を繰り返し、常に正しい方向に向かっていることを確認します。
- 微小電極モニターで神経細胞の発する電気信号を解析します。
- 症状に対する効果の有無を術中に確認します。
- すべてのモニタリングが一致してから電極を留置します。
- この電極留置が最も大切であり、一本の電極の留置に4時間くらいかかります。
- 電極と刺激発生装置をつないで、胸部の皮下に埋め込み、手術が終了します。



裏へ
つづく

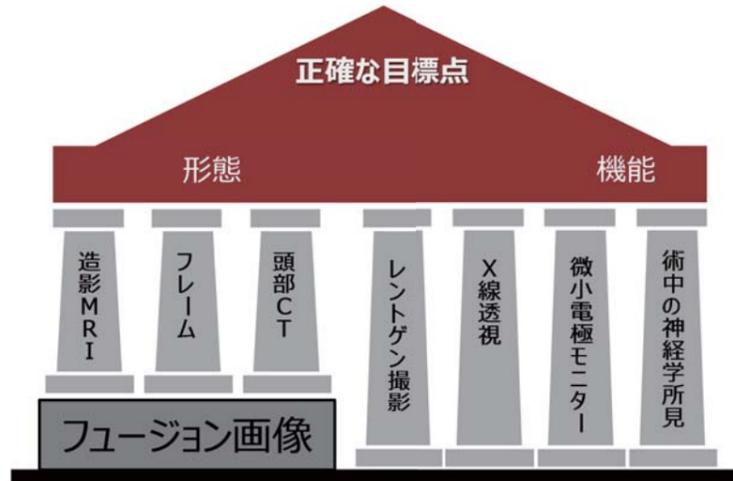
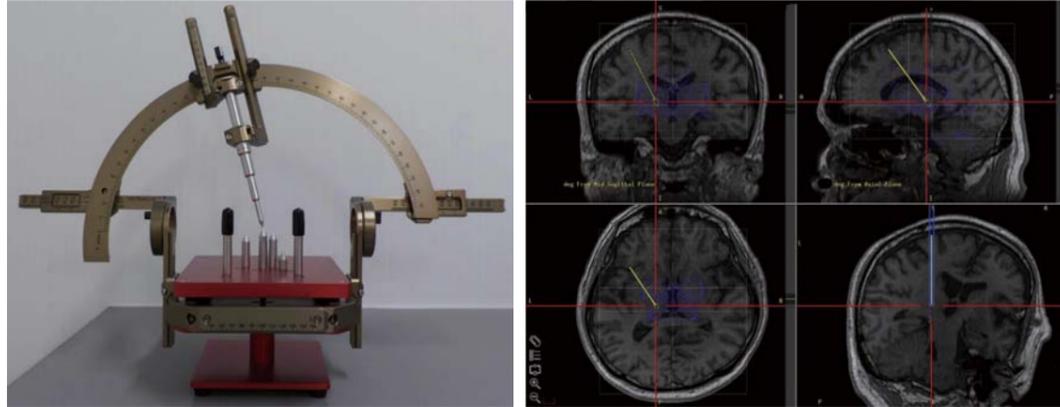
お知らせ
島大病院ニュース

平成28年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





DBSはじめます



ケアと注意事項

- 数年で刺激発生装置の交換術が必要です。
- MRIの撮影は特殊な条件のもとでのみ許可されます。
- 空港でのセキュリティ・ゲートは通行不可です。
- スマートフォンや携帯電話は問題ありません。

費用

- 高額療養費の対象です。
※年齢や所得に応じ、予め月の支払上限額が決まっています。詳しくは地域医療連携センター(8番窓口)へお問合せください。
- パーキンソン病の特定疾患医療受給者の方は公費負担があります。

問合せ先 脳神経外科(医局) TEL:0853-20-2245



第8回

救急医学講演会



とき 平成28年5月25日(水)
18:30~20:00

ところ 島根大学 医学部 臨床大講堂

司会

島根大学医学部 救急医学
にしな まさよし
教授 仁科 雅良

演題1

災害とエコノミークラス症候群

島根大学医学部 救急医学 准教授 たきなみ よしかず
瀧波 慶和

演題2

病歴・身体所見・モニター心電図でここまでわかる！ 往診現場・救急現場での循環器診療

島根大学医学部附属病院 救命救急センター 講師 こだに のぶひろ
小谷 暢啓

※この講演会は島根県医師会指定の生涯教育講座 **1.5** 単位 (申請中)です。

主催

島根大学医学部 救急医学
島根大学医学部 医師会

Tel / Fax: 0853-20-2402
E-mail: qqigaku@med.shimane-u.ac.jp
Tel: 0853-20-2176
E-mail: keiunkai@icv.ne.jp





島大病院ニュース
2016年5月

お知らせ

第10回島大総合医セミナー

飯塚病院 総合診療科

清田雅智先生を招いて

この度、第10回島大総合医セミナーを開催致します。前回に引き続き、飯塚病院総合診療科 清田雅智先生をお招きしてレクチャーと症例検討を行ないます。多数のご参加と活発な討論をお願い致します。

参加費
無料

事前申し込みは
不要です。

平成28年

5月28日(土)

16:30~19:30

於:ギャラクシー(みらい棟 4F)

1. レクチャー

『リンパ節の全て』

90分

2. 症例検討

90分

※ 5月28日のセミナーは島根県医師会指定の生涯教育講座 **3** 単位 です。



みらい棟玄関

みらい棟玄関(立体駐車場側)からお入り下さい。
西門から入られると右手に駐車場があります。

5月29日(日) 9:00~12:00

・ER実地研修

今回も当院ERに於いてwalk in patientを対象とする実地診療指導を行ないます。要領は28日のセミナー時に説明します。

本セミナーは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業“リサーチマインドを持った総合診療医の養成”」の一環として、継続的に開催いたします。島根における総合診療・救急医療のさらなる発展を目指して皆様のご意見、ご提案をお寄せください。

主催: 島根大学医学部附属病院 / 島根大学医学部医師会

問合せ先 (当番世話人): 呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威 TEL:0853-23-2111(代) 内線:2580



平成28年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2016年5月

お知らせ

健康増進のために ～散歩コースを設定しました～

患者満足度向上ワーキンググループ

当院では、入院・外来患者さんにアンケートをさせていただいており、お寄せいただきましたご意見・ご要望に対しては該当部署で検討し、対応しています。ご意見等の中には病院全体で検討し、対応すべき事項も多々あり、これらに対しては当ワーキンググループで検討しています。

入院患者さんから「病院内に散歩コースが欲しい。」「退院するまで庭園があることを知らなかった。」等のご意見をいただきましたことに対しまして、病院内に図のように庭園を利用した屋外コース(A)と雨天でも散歩できるようキャンパス内の廊下を利用した屋内コース(B)を設定しました。患者さんに健康増進のためご利用いただけたらと思います

当院では、患者さんからいただきましたご意見・ご要望に対しまして様々な面から検討を行い、患者さんの満足度向上を目指していきたく思います。ご意見・ご要望をお待ちしております。



病院内ウォーキングコース **Bコース(500m)**



平成28年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2016年5月

お知らせ



病院内「市民ギャラリー」作品紹介

4月1日(金)より、本学写真部及び本学医学部写真部の作品 16 点を展示しています。展示内容の概要は以下の通りです。

本学写真部

キン	イチメイ	総理工学部	機械・電気電子工学科	4年	「舞妓」
丸山	真季	生物資源科学部	農林生産学科森林学教育コース	3年	「花と光の幻想空間」
西原	好美	生物資源科学部	生命工学科	3年	「ねこぼんち」
横山	知穂	生物資源科学部	生命工学科	3年	「近くで」
陶山	郁也	法文学部	法経学科	3年	「目一杯」
東山	敦希	生物資源科学部	農林生産学科	2年	「凜として」
小川	歌緒里	法文学部	言語文化学科	2年	「越冬の糧」

本学医学部写真部

佐伯	祐子	医学部医学科	5年	「十六島湾の夕陽」、「不老の滝」、「ジェットコースター」
山田	淳史	医学部医学科	5年	「なかよし」、「その先へ」
青木	光	医学部医学科	3年	「神戸川の夕日」
阿部	大輔	医学部医学科	3年	「Coimbra」
永田	沙季	医学部看護学科	3年	「不機嫌」、「ノスタルジック」

当院市民ギャラリー(B病棟1階渡り廊下)にお立ち寄りいただき、実際の作品をご覧ください。

今後も、市民の皆様から広く絵画や写真の作品を募集いたします。

詳細につきましては、当院のホームページに記載しておりますので、ご覧ください。

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/pickup/gallery.html>

この取り組みを通じて、より一層地域に根ざした病院となるよう努めて参りますので、引き続き、当院に対するご支援をよろしくお願いいたします。

問合せ先 総務課企画調査係 TEL : 0853-20-2019

お知らせ

島大病院ニュース

平成28年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2016年5月

お知らせ

色彩あふれる心和む空間です

当院の緩和ケア病棟には屋上庭園があり、天気の良い日には庭園を散歩することもできます。ボランティアさんがいつも心を込めて手入れして下さる花壇では、四季折々の様々な花を楽しむことができます。また、上階の小児病棟からも見えるようにと、花壇にはブロックで作られた「アンパンマン」が季節の花に囲まれています。

先日、当院看護師が応募した「大きな花プロジェクト～大きく咲かせよう。大きく笑おう。」で当選した「マックスママ」の苗80ポットが届きましたので、早速、ボランティアさんに植えて頂きました。「マックスママ」はマーガレットと他のキク科の植物との属間ハイブリッド(交配)によって作られた全く新しい花で、大きな花と鮮やかな色合いが特徴です。定植からわずか1か月でじゅうぶんな花つきになり、花を咲かせながらさらに大きく成長しています。現在、パンジーやチューリップと一緒に、イエロー、レッド、ピンク、ホワイトと色とりどりの花を咲かせ、入院患者さんやご家族の方々に喜ばれています。



お知らせ

島大病院ニュース

平成28年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2016年5月

お知らせ

下肢静脈瘤に対して 血管内レーザー治療を開始しました

にいほら ひろゆき
皮膚科 講師 新原 寛之

下肢静脈瘤は、静脈血の逆流によって下肢に様々な不快症状をもたらす疾患です。有病率は加齢とともに上昇し、中高年では10～20%の人で下肢静脈に逆流がみられます。従来、下肢静脈瘤治療は、数日間の入院の上、手術処置により行われていました。近年、レーザー原理を用いた血管内レーザー焼灼術が登場し、波長980nmのレーザー治療法(2011年保険適用)に引き続き、より確実な焼灼が可能となる波長1470nmのレーザー治療が2014年に保険適用になりました。当科でも2016年4月より波長1470nmのレーザー治療機器を導入し、下肢静脈瘤レーザー治療を開始しています。レーザー治療の利点は、従来術式の血管除去術が腰椎麻酔下のため2泊3日の入院が必要であったのに対して、局所麻酔で可能であるため麻酔リスクの高い方にも施術可能である点、手術時間が1/2～1/3に短縮できる点、1泊2日の短期入院で済む点などがあげられます。保険適用のレーザー治療を行うことで、下肢静脈瘤に悩む多くの患者さんにより良質な医療が提供できるものと考えます。

下肢静脈瘤の足(症状)



レーザー治療のイメージ



●当院では保険適用の血管内レーザー治療を実施しています。

新しいレーザー治療の良い点

- 手術部位の傷痕がほとんど残りません
- 一泊二日の短期入院で手術が可能です
- 術後の痛みや皮下出血がより少ないです



下肢静脈瘤はエコー検査ですぐ分かります。
まずは医師にご相談ください。

問合せ先 皮膚科(医局) TEL:0853-20-2210

お知らせ
島大病院ニュース

平成28年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2016年5月

お知らせ

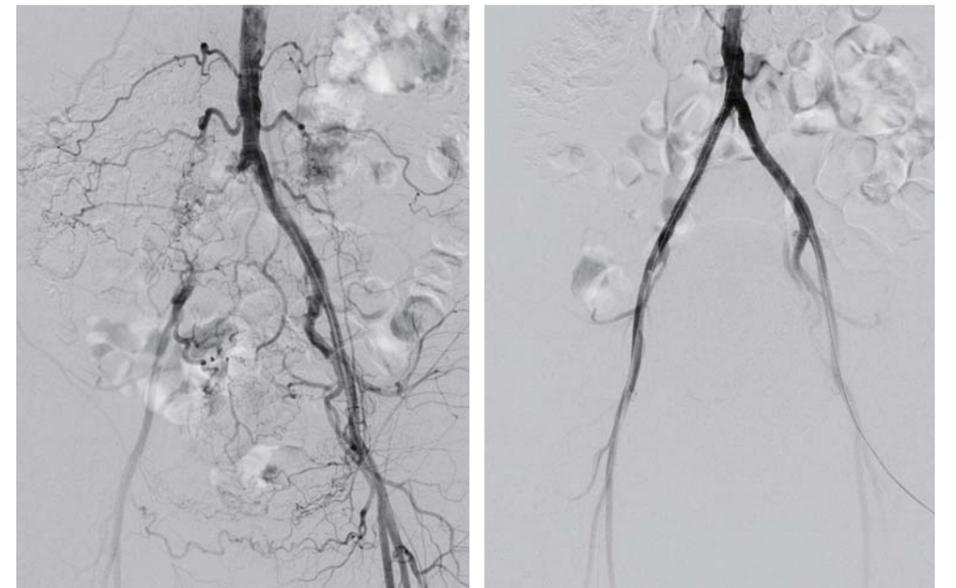


下肢動脈病変に対する カテーテル治療について

なかむら めぐみ
放射線科 学内講師 中村 恩

EVT(endovascular treatment)は冠動脈以外の末梢動脈に対するカテーテル治療を総称する言葉です。当科では下肢動脈の狭窄病変、閉塞病変に対するカテーテル治療を行っています。血行再建による患肢の温存、血行障害に基づく皮膚潰瘍の治療を目的とします。治療に使用されるカテーテル、ステントの他、血行再建に使用されるデバイスの進化に伴い、以前には行えなかった下腿の動脈病変に対する治療が可能となってきました。下肢虚血は症状がない場合には気が付きにくいことがあります。また、他の疾患と合併することが多いことが知られています。高血圧、糖尿病に隠れている可能性があるため、院内外でこのような基礎疾患があり、下肢症状がある、あるいは疑われる患者さんがいらっしゃいましたら、当科にご紹介頂きますようお願い申し上げます。

症例は40代女性。
間欠性跛行を主訴に受診。
右総腸骨動脈の閉塞あり。
閉塞部にステント留置し血
流は再開しました。
症状は消失しました。



問合せ先

放射線科(医局)
TEL:0853-20-2289

お知らせ
島大病院ニュース

平成28年5月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2016年5月

お知らせ



参加費
無料

事前申し込みは
不要です。

島大DMATの活動報告

と き

平成28年6月7日(火)

18:00~20:00

と ころ

島根大学 医学部 臨床大講堂

〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

演 題

熊本地震に学ぶ災害医療

島根大学医学部附属病院 高度外傷センター センター長 渡部 広明

木谷医師、比良医師、瀧波医師 他

※この講演会は島根県医師会指定の生涯教育講座

2
単位

(申請中)です。

主催

島根大学医学部附属病院

島根大学医学部 医師会

Tel : 0853-20-2176 E-mail : keiunkai@icv.ne.jp

お知らせ

島大病院ニュース

平成28年5月発行

編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会

問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当

TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063

◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

